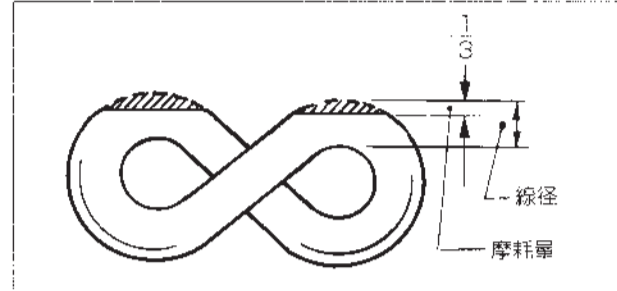


5 取外し方法

- 取外しの際は、ジャッキアップの必要はありません。次の手順に従ってください。
- (1)板フックが斜め(45°程度右下または左下)の位置になるように車輛を止めます。
 - この位置が、一番操作がスムーズになります。
 - (2)チェーンバンドを外します。
 - 下側のフックから、体重をかけながら外すとスムーズに作業できます。
 - (3)外側板フックを外します。
 - (4)内側線フックを外します。
 - 外側のサイドチェーンを両側に広げて、内側のサイドチェーンをゆるめておくことで操作がスムーズになります。
- ただし、外側のサイドチェーンを、内側に落とさないようにしてください。
- (5)内側のサイドチェーンを外側に引き出します。
 - (6)車輛を移動して、取外し作業は完了です。

6 使用限度・保管方法その他



- ### 1. 使用限度について
- 使用後のクロスチェーンの破損の有無、摩耗量、チェーンバンドのキズ等を確認してください。
- クロスチェーンは1ヶ所でも破損があったり、線径の3分の1摩耗していれば寿命です。早めに新しいチェーンをお求めください。
 - チェーンバンドに破損やキズがある場合は、新しいチェーンと取替えてください。

2. 保管方法、その他について

- 長時間使用しない時は、水洗い後乾燥させます。そして防錆油などをうすく塗って、乾燥した直射日光の当たらないところに保管してください。
- 使用後はネジレ防止のため、サイドチェーンの両端を結んでおいてください。
- ご自身で修理することは絶対に避け、新しいチェーンと取替えてください。

・誤った取付け方および使用方法による事故、故障については、一切責任を負いません。
・仕様は、予告なしに変更することがあります。

製造元 Cathay American, Inc.

販売元 CHUHATSU

中興販売株式会社
お問合せ先 〒457-0066 愛知県名古屋南区鳴尾2丁目114番地 TEL052-614-3653

雪道楽 AI

ノーマルチェーン

取扱説明書

このたびは、ノーマルチェーン・雪道楽 AI をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、記載された内容にしたがってお使いください。

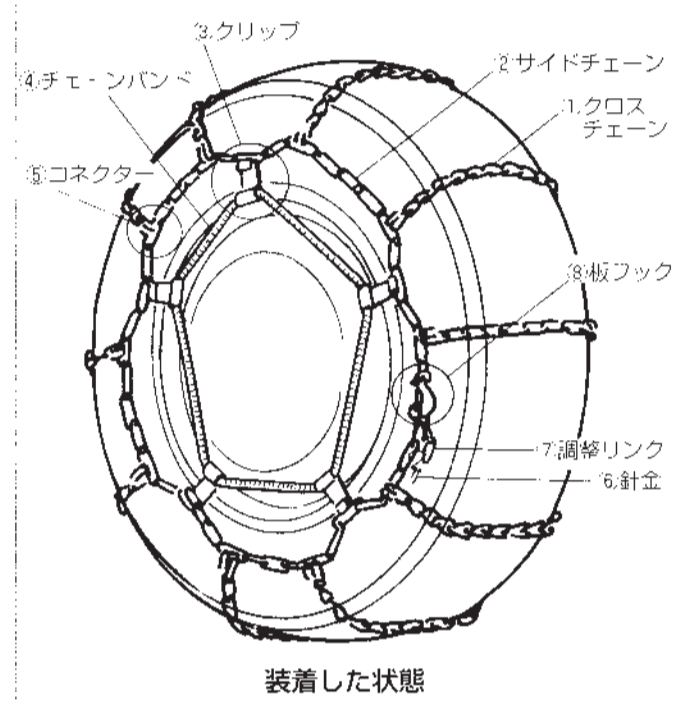
本書は紛失しないよう大切に保管してください。なお、本品を他のお客様にお譲りになる時は必ず本書を合せてお渡してください。

▲注意

チェーンをお買い上げになった後は必ず「取り付け(装着)練習」を行ってください。米当路での初めての取り付けは正しい装着ができないおそれがあります。

1 セット内容と各部の名称

このセットは以下の内容で構成されています。使用前に必ず、お確かめください。



- 1. チェーン本体……………2本(同じもの)
- 2. チェーンバンド……………2本(同じもの)
- 3. 取扱説明書……………1部
- 4. 針金……………4本(同じもの)
- 5. ビニール手袋……………1ペア

- 1. クロスチェーン 2. サイドチェーン 3. クリップ
- 4. チェーンバンド 5. コネクタ
- 6. 針金 7. 調整リンク 8. 板フック

装着した状態

3 走行中の注意事項

- ### 1. 試走行について
- チェーン装着後、200～300m程度試走行をして、異常がないことを確認してください。
 - ▲注意 試走行をして異常音が出た場合は、正しい装着ができていません。直ちに安全な場所に車を止め、正しくチェーンバンドがゆるみ、サイドチェーンの引張り力が弱くなっている場合なども、サイドチェーンを正しく締め直してください。

▲注意 タイヤチェーンを装着して走行すると、アルミホイール、ホイールキャップ、タイヤサイドの意匠(文字)等をキズつける場合があります。必ずホイールキャップは、外してご使用ください。

▲注意 道路地でのチェーンの巻掛は他の交通の邪魔をしたり、事故に巻き込まれる恐れがありますので絶対にしないでください。他の交通の妨げにならない広い平地が指定された場所で行ってください。

▲警告 チェーン装着場所
▲警告 チェーンは必ず駆動輪に装着してください。(車輛の取扱い説明書に従ってください)

▲警告 非駆動輪に装着しては効率が低下し危険です。
●片輪のみの装着や異なるチェーンの併用は、ブレーキの片働き、操縦安定性の低下の原因となり危険です。必ず左右同一セットのハブで装着してください。

▲警告 チェーンを駆動輪に装着しては効率が低下し危険です。
●車輪の損傷、チェーン脱落のおそれがあります。指定位以外のチェーンを取付けますと車体に接触し、チェーン本体の破損、車輪の損傷、チェーン脱落のおそれがあります。

●車輪によっては、同じ適合タイヤサイズでも装着できない場合があります。車輛の取扱い説明書のタイヤサイズ表を必ずご確認ください。
▲注意 適合タイヤサイズは、カーマニュアルに記載されています。必ず、ご確認ください。

▲注意 適合タイヤサイズは、再生タイヤなど特殊なタイヤについては、本セットが装着できない場合があります。また、スタックタイヤサイズは、タイヤの空気圧・摩耗量・ホイール幅によって異なる場合があります。また、スタック

▲注意 適合タイヤサイズは、カーマニュアルに記載されています。必ず、ご確認ください。
●必ずタイヤサイズに適合したセットをご使用ください。

▲警告 本文中の▲警告、▲注意の文章は以下のような意味になっています。
●人身にかかわる、大切な作業項目です。間違いない無誤の作業を行い、チェーン装着後も安全運転を行います。
▲注意 エンジンやタイヤ、ホイールなどに、キズを付ける原因になります。手順に従って、正しい作業を進めましょう。

2 使用前の注意事項

- ABS装着車は条件により制動距離が長くなる可能性があります。
- 乾燥路での走行はチェーンの摩耗が早くなり、早期切断の原因になるばかりで、タイヤへのキズ付けや制動性、走行安定性も低下します。
- 積雪路、凍結路以外で、タイヤチェーンを装着したままの連続走行はしないでください。

▲注意 ●スタック(立ち往生)した時は、おやみに高速度運転をさせないでください。
●チェーンを装着したままタイヤを高速度回転させるとチェーンが切斷し、車両をキズつけることがあります。

▲注意 ●積雪路、凍結路以外で、タイヤチェーンを装着したままの連続走行はしないでください。



▲警告 ●坂道を走行する際は必ず30km/h以下で走行してください。
●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。

▲警告 ●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。
●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。

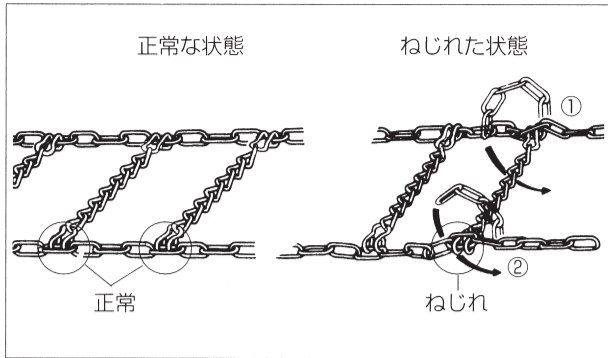
▲注意 ●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。
●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。

▲警告 ●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。
●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。

▲警告 ●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。
●チェーンを装着した時は必ず30km/h以下で走行してください。

4 タイヤチェーン取付け方法

タイヤチェーンの取付け方にはジャッキアップして取付ける方法と、ジャッキアップしないで取付ける方法があります。



●チェーンの取扱いは、ケガ、汚れ防止のために手袋を使用してください。

A. ジャッキアップして取付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

チェーンを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジれている場合は図のように、サイドチェーンがコネクタからからんだ状態になります。

●ネジれた状態の時は、矢印(①→②)のようにくぐらせることで、正常の状態になります。

●ネジれたままでは装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

2. 取付け

(1) パーキングブレーキを引き、ギアをローまたはバック(マニュアル車)、あるいはパーキング(オートマチック車)に入れます。タイヤ止めも併用してください。

(2) 車輪をジャッキアップして、タイヤを完全に浮かします。
●ジャッキの使い方については、車輪の取扱説明書をお読みください。

(3) チェーンを板フックがタイヤ下部より5cm程度以上にできるようにかぶせます。その際、コネクタの折曲げ部が外側(タイヤ面に接しない側)に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側になるようにタイヤにかぶせます。

▲注意

●コネクタの折曲げ部が内側(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。
●線フックが外側、板フックが内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。**ゆるめ装着**になる場合が多いので注意してください。

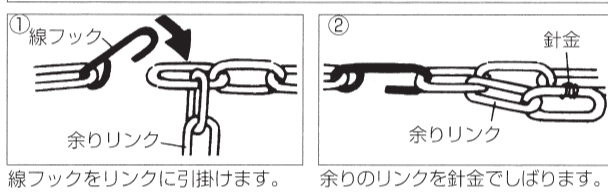
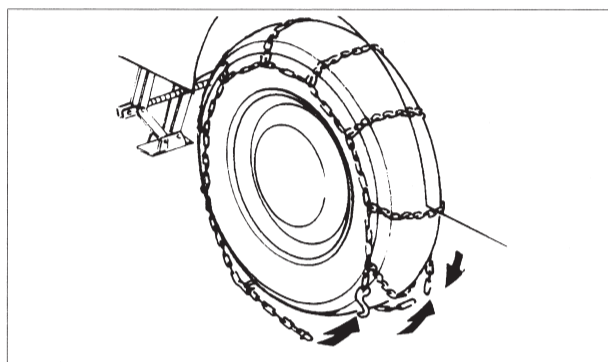
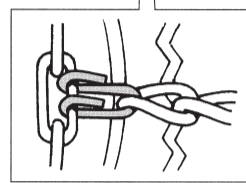
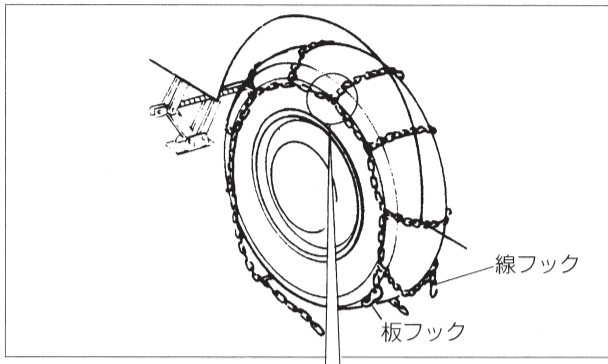
(4) サイドチェーンの調整リンク側(板フック、線フックのついていない側)を、浮かしたタイヤの下部からフック側にくくり引き寄せます。

(5) 調整リンクの最適な位置を確かめて、内側のサイドチェーンと線フックを連結します。

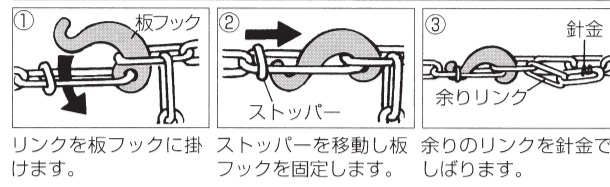
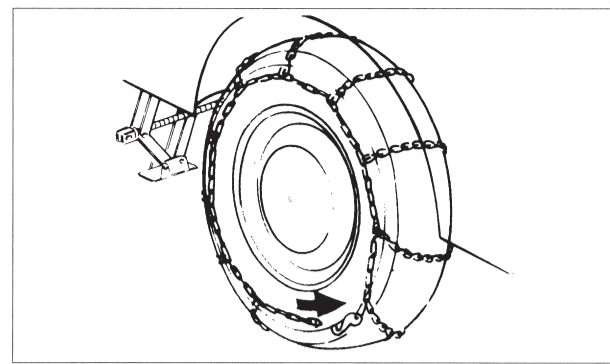
●正しい取付け方をすると内側、外側とも余りのリンクが同数または内側が1リンク少なくなります。この状態でゆるみのないように調整し、確実に締めてください。

▲注意

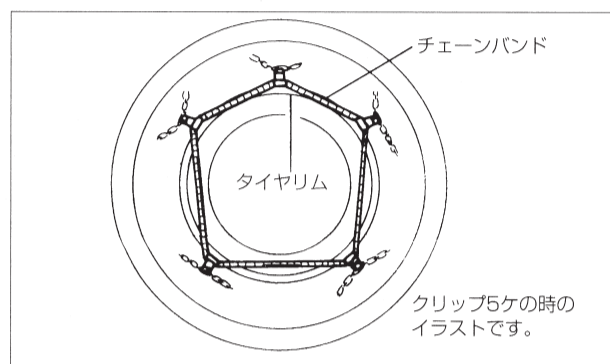
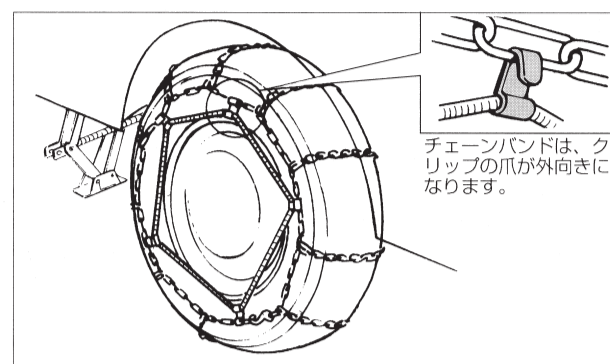
●余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
●そのままにして走行すると**車輪に接触**する場合があります。



線フックをリンクに引掛けます。 余りのリンクを針金でしばります。



リンクを板フックに掛 ストッパーを移動し板 余りのリンクを針金で けます。 フックを固定します。 しばります。



(6) 外側サイドチェーンをタイヤに平均してかぶせて最も張られた位置で連結します。
●余りのリンクは(5)同様に、針金でしばってください。

(7) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けます。
●サイドチェーンの結び方がゆるいと、バンドが効かない場合があります。チェーンバンドを外して、サイドチェーンを結び直してください。

▲注意

●チェーンバンドを付けないで走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、**フェンダー等に当たる**ことがあります。
●クリップの爪が外向きになるように掛けてください。
●クリップの爪が内向き(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**が付くことがあります。

3. 取付け状態の確認

(1) チェーンがゆるくないかを確認する。

●チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。
ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。

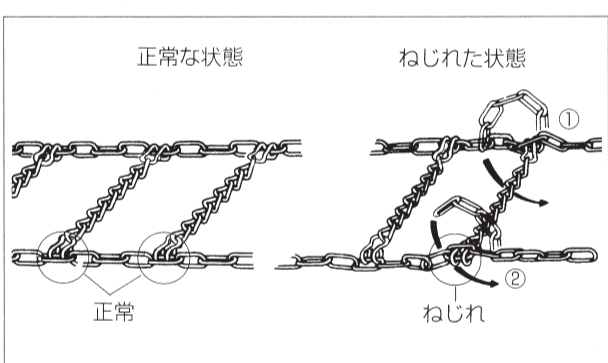
(2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。

●片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

▲注意

●片寄ったまま走行すると、**コネクタを踏んだり早期切損**につながりやすいです。

(3) 全ての確認が終わったら、ジャッキをおろします。タイヤ止めは、左右のタイヤにタイヤチェーンを装着してから外します。



B. ジャッキアップしないで取付ける方法

1. チェーンのネジレを確認

チェーンを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。ネジれている場合は図のように、サイドチェーンがコネクタからからんだ状態になります。

●ネジれた状態の時は、矢印(①→②)のようにくぐらせることで、正常の状態になります。

●ネジれたままでは装着できない場合や、タイヤをキズ付けることがあります。チェーンの寿命も短くなります。

2. 取付け

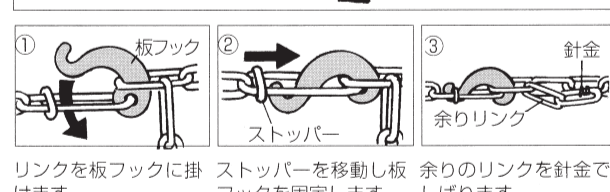
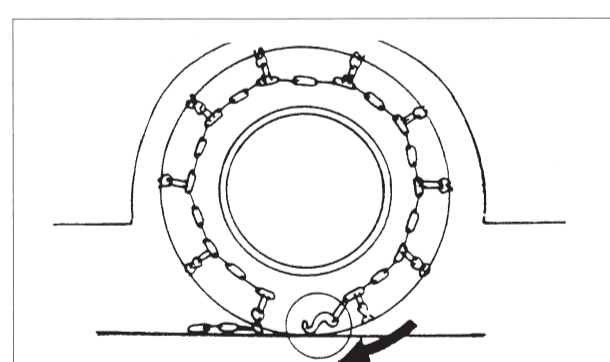
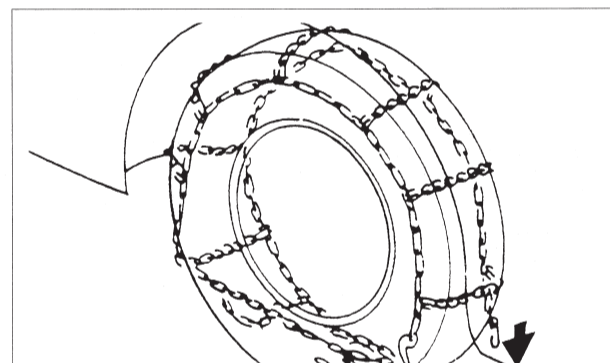
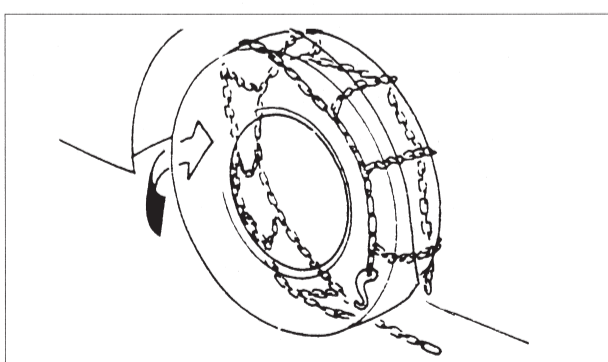
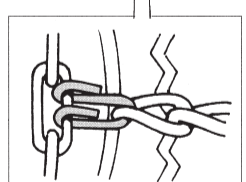
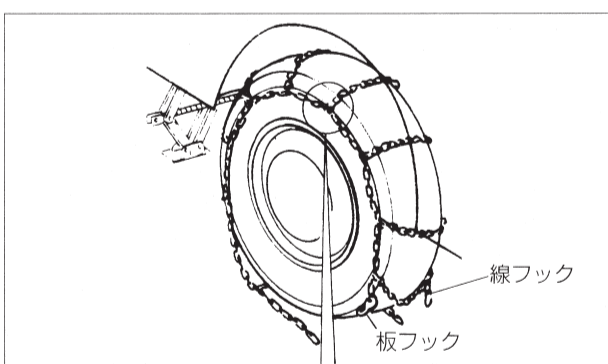
(1) パーキングブレーキを引き、ギアをローまたはバック(マニュアル車)あるいはパーキング(オートマチック車)に入れます。タイヤ止めを使用して、車輪が動かないようにします。

(2) チェーンを、板フックが路面より5cm程度浮くようにタイヤにかぶせます。その際、コネクタの折曲げ部が外側(タイヤ面に接しない側)に、板フックがタイヤ外側、線フックがタイヤ内側になるようにタイヤにかぶせます。

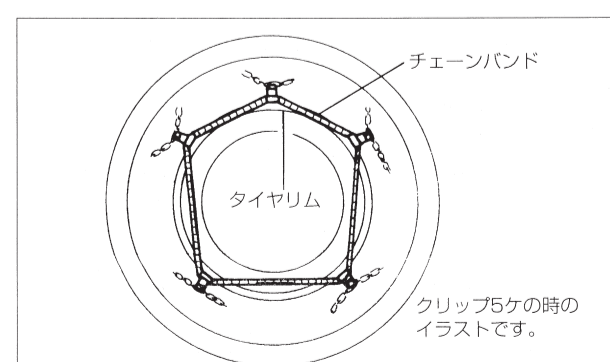
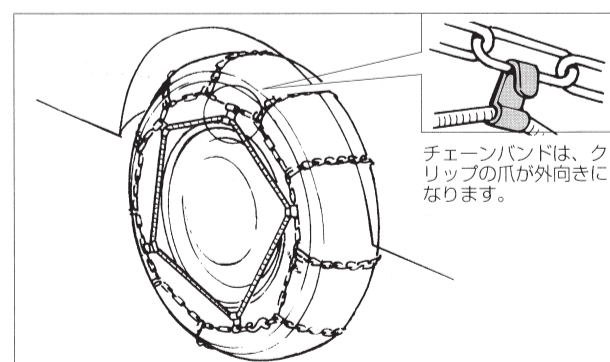
▲注意

●コネクタの折曲げ部が内側(タイヤ面に接する側)になると**タイヤ表面にキズ**を付けることがあります。
●線フックが外側、板フックが内側になると、増し締め操作がやりにくくなります。**ゆるめ装着**になる場合が多いので注意してください。

(3) 外側のサイドチェーンをタイヤ内側に寄せて、サイドチェーンの調整リンク側(板フック、線フックの付いてない端)を線フック側に投げて引き寄せます。固めの針金を用意しサイドチェーンの端末を引掛けて引寄せると楽にできます。



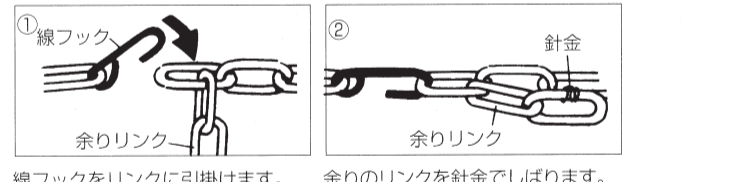
リンクを板フックに掛 ストッパーを移動し板 余りのリンクを針金で けます。 フックを固定します。 しばります。



(4) 調整リンクの最適な位置を確かめて、内側のサイドチェーンと線フックを連結します。
●正しい取付け方をすると内側、外側とも余りのリンクが同数または内側が1リンク少なくなります。この状態でゆるみのないように調整し、確実に締めてください。

▲注意

●余りのリンクは、必ず針金でしばってください。
●そのままにして走行すると**車輪に接触**する場合があります。



線フックをリンクに引掛けます。 余りのリンクを針金でしばります。

(5) 板フックが真下になるようにチェーンをずらし、タイヤに平均にかぶせた後、外側サイドチェーンが最も張られる位置で連結します。
●板フック部が真下にこないと、つなぎ部の間隔が広がりがゆるめ装着となります。
●板フックを仮止めし、その両端のサイドチェーンを強く手前に引きゆるみのないように付けてください。
●余りのリンクは(4)同様に、針金でしばってください。

(6) バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けます。
●サイドチェーンの結び方がゆるいと、バンドが効かない場合があります。チェーンバンドを外して、サイドチェーンを結び直してください。

▲注意

●チェーンバンドを付けないで走行すると、チェーンが遠心力でふくらみ、**フェンダー等に当たる**ことがあります。
●クリップの爪が外向きになるように掛けてください。
●クリップの爪が内向き(タイヤ面に接する側)になると、**タイヤ表面にキズ**が付くことがあります。

3. 取付け状態の確認

(1) チェーンがゆるくないかを確認する。

●チェーンバンドがサイドチェーンを引きつけ、正しく張られていることを確認してください。
ゆるい場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。

(2) チェーンの掛かりが、タイヤに対して片寄りがないことを確認します。片寄っている場合は、必ずサイドチェーンを結び直してください。

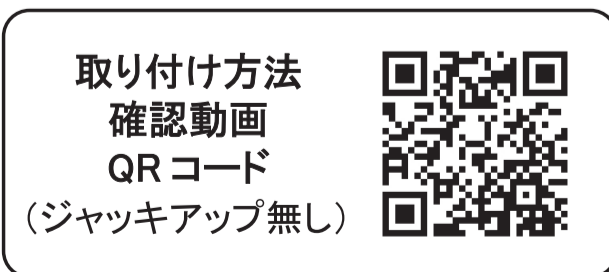
●片寄りのない付け方は、図のようにチェーンバンドがタイヤの中央で均等になっている状態です。

▲注意

●片寄ったまま走行すると、**コネクタを踏んだり早期切損**につながりやすいです。



取り付け方法
確認動画
QRコード
(ジャッキアップ有り)



取り付け方法
確認動画
QRコード
(ジャッキアップ無し)